

## 東銀リースが4社間の資本業務提携を発表ー資本充実度が大きく改善、主要株主との今後の関係に注目

以下は、東銀リース株式会社（証券コード：一）が発表した第三者割当増資および資本業務提携についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 東銀リース（当社）は、6月23日、三菱UFJ銀行、農林中央金庫（農林中金）および東京センチュリーとともに、4社間で資本業務提携契約を締結し、当社の第三者割当増資を、三菱UFJ銀行、農林中金および東京センチュリーが引き受けることで合意したと発表した。増資総額は約300億円で、増資後の出資比率は三菱UFJフィナンシャル・グループ（MUFG）（連結ベース）27.7%（うち三菱UFJ銀行22.3%）、農林中金25%、東京センチュリー25%となる見込み。払込時期は関係当局の承認を得られ次第、22年8～9月頃を予定している。当社は現在、MUFGおよび三菱UFJ銀行の持分法適用関連会社であるが、増資後はこれに加えて、農林中金、東京センチュリーの持分法適用関連会社となる見込み。
- (2) JCRではこれまで当社の資本充実度は改善の余地が大きいことを指摘してきたが、今般の増資が実施されれば自己資本比率は大きく上昇するとみられる。一方、当社の格付には、従前よりMUFGとの密接な関係を織り込んできた。今回の資本業務提携は「MUFGにとって重要な位置づけ」とされるアセットビジネスにおいて当社のリスクテイク機能の強化を図るものであり、JCRはMUFGにおける当社の戦略的な重要性が高まるか注目している。農林中金や東京センチュリーの経営資源を活用していくことも見込まれ、当社の事業基盤の強化に結びつけていくことができるかフォローしていく。

（担当）加藤 厚・坂井 英和

### 【参考】

発行体：東銀リース株式会社

長期発行体格付：A

見通し：安定的

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル